

報道機関各位

熊本大学

演劇ワークショップ「身体による”感情”の伝え方
～イタリア古典仮面劇コンメディア・デッラルテの技法から～」を開催

熊本大学教育学部芸術系講座及びグローバル教育カレッジは、標記ワークショップを下記の要領で実施致します。これは、本年の日伊国交樹立 150 周年を記念し様々な行事を企画しているイタリア文化会館大阪との共催事業として、ボローニャからフラテルナル劇団を招聘して行われるものです。皆様のご参加をお待ちしております。

記

【日 時】 平成 28 年 12 月 5 日 (月) 16 : 10 ~ 17 : 40

【場 所】 熊本大学グローバル教育カレッジ 1 階ラウンジ

【参加費】 無料

【参加対象者】 パフォーマンス (芸術) に関心のある学生及び一般の方々

【実施内容】

16～17 世紀に成立したイタリアの伝統仮面劇コンメディア・デッラルテを専門に研究、実践するフラテルナル劇団をボローニャから招き、身体による感情の伝え方を学びます。現在のアニメ、漫画、映画にもつながる“定型的人物”が、どのような“動き”で人や感情を表現し、それらの人物を“表現”していたのか一緒に身体を動かしながら考えてみましょう。この経験は、演劇を演じるためだけでなく、どのように他人に物事やイメージを伝えるか、現代社会の様々な場面においても生かすことのできるスキルとなるはずです。

なお、このワークショップは、熊本大学の熊本復興支援プロジェクトのシアターセラピーと位置付けられておりますので、学生のみでなく、一般の方にも広くご案内いたします。

【フラテルナル劇団について】

イタリア・ボローニャ市で、路上生活者など社会的弱者の社会復帰を目指して活動する協会

「ピアッツァ・グランデ (大きな広場)」の活動を母体に、2000 年にマッシモ・マキャヴェッリが設立。イタリア伝統の仮面即興劇コンメディア・デッラルテを上演し、欧州各地を巡回公演している。2010 年には国際連合教育科学文化機関 (ユネスコ)、および国際演劇協会の公演の基、第 1 回“世界コンメディア・デッラルテの日” (ボローニャ) を主催。また、井上ひさしと交流のあったマキャヴェッリは、井上の死後代表的戯曲《父と暮らせば》をフラテルナル劇団で上演している。2011 年以降 3 度の日本ツアーを実現し、4 度目となる今回は 6 人の俳優とともに初の九州公演。

なお、12 月 7 日 (水) には、同イタリア文化会館-大阪と「熊本大学・日伊修交 150 周年記念事業実行委員会」を主催として、山鹿市八千代座で同フラテルナル劇団による《ドン・ジョヴァンニ》の上演を予定しています (別紙参照)。国交樹立 150 周年を記念する公式イベントとしては九州唯一のもので、在大阪イタリア総領事、同文化会館大阪館長、山鹿市長も臨席される予定となっているほか、地域の小中高校生も多く招待されております。日本の伝統的舞台におけるイタリア・バロック演劇の上演を通して、演目の内容はもちろん、我が国の文化遺産へと眼を向けてもらう教育的取り組みとしてもどうぞご期待ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学教育学部音楽科 山田 TEL 096-342-2681

Comodo arts project 内事務局 TEL 096-288-4635

初来熊！ボローニャ・フラテルナル劇団による演劇ワークショップ
身体による“感情”の伝え方

～ イタリア古典仮面劇コンメディア・デッラルテの技法から ～



- 日時 2016年12月5日(月) 16:10～17:40(5限)
- 場所 熊本大学グローバル教育カレッジ1F ラウンジ
- 参加費 無料、服装自由、通訳付(教育学部准教授・山田高誌)
- 対象者 パフォーマンス(芸術)に関心のある学生、一般の方

(連絡先: 096-288-4635 (comodo arts project 坂口) / yamada@educ.kumamoto-u.ac.jp 山田)

【内容】

16～17世紀に成立したイタリアの伝統仮面劇コンメディア・デッラルテを専門に研究、実践するフラテルナル劇団をボローニャから招き、身体による感情の伝え方を学びます。現在のアニメ、漫画、映画にもつながる“定型的人物”が、どのような“動き”で人や感情を表現し、それらの人物を“表現”していたのか一緒に身体を動かしながら考えてみましょう。この経験は、演劇を演じるためだけでなく、どのように他人に物事やイメージを伝えるか、現代社会の様々な場面においても生かすことのできるスキルとなるはずです。

なお、このワークショップは、熊本大学の熊本復興支援プロジェクトのシアターセラピーと位置付けられておりますので、学生のみでなく、一般の方にも広くご案内いたします。

また、12月7日(水)には、山鹿市の八千代座で同劇団による《ドン・ジョヴァンニ》上演を予定しています(チラシ参照)。日本の伝統的舞台とイタリアバロック芸術の融合、どうぞご期待ください。

【フラテルナル劇団について】 <http://www.comodo-arts.com/pg210.html>

イタリア・ボローニャ市で、路上生活者など社会的弱者の社会復帰を目指して活動する協会「ピアッツァ・グランデ(大きな広場)」の活動を母体に、2000年にマッシモ・マキャヴェッリが設立。イタリア伝統の仮面即興劇コンメディア・デッラルテを上演し、欧州各地を巡回公演している。2010年には国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)、および国際演劇協会の公演の基、第1回“世界コンメディア・デッラルテの日”(ボローニャ)を主催。また、井上ひさしと交流のあったマキャヴェッリは、井上の死後代表的戯曲《父と暮らせば》をフラテルナル劇団で上演している。2011年以降3度の日本ツアーを実現し、4度目となる今回は6人の俳優とともに初の九州公演。

熊本大学・日伊修好 150 周年記念事業実行委員会 主催

イタリア伝統仮面劇 “コンメディア・デッラルテ” 待望の来熊!!

即興仮面喜劇 ポローニャ・フラテルナル劇団

ドン・ジヨヴァンニ

よみがえ
～甦った石の招客～

*Don Giovanni
Fraternal Compagnia*

モーツァルトの誕生からわたしのほんの150年
ドント・フランソワ伝説を元にした生まれたたもつ「」の喜劇



風刺の効いた即興劇と多彩なパントマイム
国境を超えた面白さ!



2016 12/7(水) 18:30 開場 19:00 開演

会場 国指定重要文化財 八千代座
山鹿市山鹿1499 TEL0968-44-4004

料金 一般 2,000円 大学生以下 1,000円 *未就学児の入場はご遠慮ください
*当日券は各500円増

チケットのお求め 熊日プレイガイド、大谷楽器、榎敷茶屋、チケットぴあ (Pコード:455-046)

ご予約 お問合せ 熊本大学・日伊修好150周年記念事業実行委員会 事務局 096-288-4635 (Comodo arts project内)

主催/熊本大学・日伊修好150周年記念事業実行委員会、イタリア文化会館-大阪

後援/熊本県、熊本県教育委員会、熊本県文化協会、山鹿市、山鹿市教育委員会、山鹿市地域振興公社、山鹿市文化協会、熊本日日新聞社

在大阪イタリア総領事館、大阪モーツァルト協会、モーツァルトウム財団(在ザルツブルク)、Da Vinci出版社、ターキッシュ エアラインズ

世界遺産に登録されようとしている天草の教会群に示されるように、熊本地域は16世紀よりイタリア半島と交流がありました。このたび、イタリア文化会館 - 大阪の全面的協力により、熊本の国指定重要文化財・八千代座においてイタリア・バロック期の演劇の上演が実現する運びとなりました。17世紀に確立された歌舞伎式劇場において、同時代のイタリア演劇を当時のスタイルで演じるという極めて稀有な機会となります。海洋国家であり、地震国家としても共通している日本とイタリアの、思いもよらぬ芸能の同質性について《ドン・ジョヴァンニ》を通してぜひ注目ください。

コンメディア・デッラルテとは？

Commedia Dell'arte

16世紀末に成立したイタリアの伝統的な仮面劇。その後、イタリアのみならずヨーロッパ各地で流行し、約200年にわたって人気を博しました。台本を使わず、大まかな筋書きにそって俳優が登場人物をユーモラスに演じ、即興的に物語を展開していくところが最大の特徴です。また、主要な人物が仮面と独特の衣裳を着けて登場し、風刺のきいたギャグとアクロバティックな演技で大いに客席を沸かせます。道化の召使いであるアルレッキーノやヴェネツィアの老商人パンタローネ、ボローニャのえせ学者ドットーレなど、コンメディア・デッラルテの主要なキャラクターは今も多くの人に親しまれています。

★上演前に「コンメディア・デッラルテ」についての
レクチャーを行います



『ドン・ジョヴァンニ～甦った石の招客～』

ジャン・バッティスタ・アンドレイーニ作 [1651年]

<作品について>

1651年にジャン・バッティスタ・アンドレイーニが書いた『ドン・ジョヴァンニ～甦った石の招客～』はごく最近に発見された作品で、現代上演されたことはありませんでした。当時詩人としても活躍した高名な女優イザベッラ・アンドレイーニの息子であった台本作家アンドレイーニは、モリエールの代表作に先駆け、音楽劇、牧歌、そしてコンメディア・デッラルテ（即興仮面劇）を一体化した韻文による演劇用台本を著しています。

1500年代から既に口承の一部であったドン・ファン伝説は、17、18世紀になりティルソ・デ・モリーナ、ジャチント・アンドレア・チコニーニ、モリエール、カルロ・ゴルドーニが、それぞれの様式で彼らの『ドン・ジョヴァンニ』を発表していたのですが、それに先立ち、数多くのコンメディア・デッラルテ（即興仮面劇）の劇団によってヨーロッパ各地で上演されていました。アンドレイーニは、当時の「茶番劇」の中で陳腐化した登場人物に重要性を取り戻させるために《甦った石の招客》という副題を付け、喜劇用の筋書きを残し、歴史的演劇に特化したフラテルナル劇団が17世紀の様式で、作品の再現を試みています。

なお公演には様々な楽器（ギロンダ、アコーディオン、管楽器、打楽器）による生演奏が入ります。

フラテルナル劇団プロフィール Fraternal Compagnia

フラテルナル（=友愛）劇団は、イタリアのボローニャ市で、路上生活者など社会的弱者の社会復帰をめざして活動する協会「ピアッツァ・グランデ（大きな広場）」の活動の中から、2000年にマッシモ・マキャヴェッリが設立した。イタリア伝統の仮面即興劇、コンメディア・デッラルテを路上生活者達とともに上演し、欧州各地を巡回公演している。

海外公演、講演会、演劇フェスティバルへの参加、そして異なるジャンルの演劇団体との国際的交流により、コンメディア・デッラルテ（即興仮面劇）を通して、イタリアの文化遺産を世界に紹介。2010年には、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、および国際演劇協会の後援のもと、文化協会SAT主催による第1回「世界コンメディア・デッラルテの日」をボローニャにて主催。また、劇作家井上ひさしと交流のあったマキャヴェッリは、井上の死後、代表的戯曲「父と暮らせば」をフラテルナル劇団で上演している。2011年以降3度の日本ツアーを実現し、今回が4回目の来日公演。

主催／熊本大学・日伊修好150周年記念事業実行委員会、イタリア文化会館・大阪



後援／熊本県、熊本県教育委員会、熊本県文化協会、山鹿市、山鹿市教育委員会、山鹿市地域振興公社、山鹿市文化協会、熊本日日新聞社
在大阪イタリア総領事館、大阪モーツァルト協会、モーツァルトテウム財団（在ザルツブルク）、Da Vinci出版社、ターキッシュ エアラインズ

